



Title	発刊にあたって
Author(s)	村上, 靖彦
Citation	未来共創. 2024, 11, p. 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97808
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『未来共創』第11号をお届けします。

ロシアへのウクライナの侵攻、イスラエルによるガザ地区への侵攻、それにともなう女性や子どもを中心とした多数の犠牲者、能登半島の地震の惨事といった暗くなるニュースが続いています。

そのなかで『未来共創』が提案するメッセージは、暗い世界を少しでも照らそうとするランプたることなのではないかと思います。

今号の特徴は本研究科の杉田映理先生がIMPACTオープンプロジェクトおよびOOS（大阪大学オムニサイト）で展開しているMeWプロジェクトを中心とした月経に関する特集です。MeWプロジェクトによる生理用品の無料配布の活動は社会でひろく注目を集めていますが、今回の論考は高校生、男子学生、高齢者と月経という従来あまり議論されてこなかった切り口から展開されており、この問題の地平を拓げるものとなっております。

投稿論文については、不公正感についての社会心理学的な研究と中国の災害対策についての研究、報告のページでは鹿児島、瀬戸内、ヒマラヤにまたがる実践の記録となっており、本雑誌は共創知に関するさまざまな探求の場となっております。

編集にあたっては木村友美先生、未来共創センター特任研究員の小泉空さんに大変にお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

発刊にあたつて

2024年3月13日

『未来共創』編集委員会委員長
附属未来共創センター長
村上 靖彦